

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
平成30年度事業 点検・評価調書

5-II-8

5-II-8

章	世界遺産を核とした魅力ある地域づくり		取組項目	地元特産品の販路拡大
	節	I 佐渡金銀山のブランドイメージの確立		
事業(施策)名	8 佐渡特産品の販路拡大	事業実施期間	事業主体	佐渡市農業政策課
			関連団体	佐渡地域振興局農林水産振興部、佐渡市農林水産課、佐渡市地域振興課、佐渡連合商工会
事業概要	【事業目的】	○佐渡金銀山ブランドを活用した販売促進戦略により、佐渡全体のイメージ向上と、佐渡特産品の販路拡大を図る。		
	【事業内容】	○首都圏等での物産展や雑誌、ホームページ、SNS等各種広報媒体において佐渡金銀山のPRIに合わせて、佐渡特産品の展示・販売を積極的に行う。		
30事業計画と実績	【30年度計画】	●食材豊富な佐渡島から生産される佐渡特産品のイメージの向上を図り、販路拡大のため商談会やイベントなど積極的に参加し、事業者が参加する見本市に対しても支援する。		
	【30年度実績】	米商談会 4回 佐渡産品商談会 1回 イベント 4回		
課題・今後の取組	【課題】	■佐渡特産品のイメージ向上と販路拡大を図る必要がある。		
	【今後の取組】	■販路は首都圏だけにとどまらず、関西圏や中京圏なども視野に入れる。		
事業評価	【事業の達成度】	商談会やイベントに参加し、佐渡特産品の販路拡大に向けた取組みができた。		
	【事業実施の効果】	佐渡産品のメインイメージで興味をもたれるのは、自然環境、トキ、ジラスである。佐渡金銀山との佐渡産品のイメージ共有が持たれていないのが現状である。		
	【総合評価】	今後も関係機関との連携した情報発信に努め、佐渡産品の販路拡大と佐渡金銀山の認知度向上を図る。		

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。